十勝毎日新聞
発行所
十勝毎日新聞社
©十勝毎日新聞社 2000
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
TEL(代表)0155-22-2121
編集局 0155-22-2121
広告局 0155-23-2323
販売局 0155-24-2222
事業局 0155-22-7555
総務局 0155-24-2299
広尾支局 01558-2-4111
池田支局 01557-2-2367
本別支局 01562-2-2618
新得支局 01566-4-5524
札幌支社 011-261-2161
東京支社 03-3544-1365

友好都市提携に調印

中国・朝陽市と帯広市

15年間の交流結実

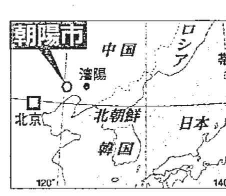
両市長が固い握手　「理解深め、末永く」

【政経部＝岩谷真宏】帯広市は十七日午前十一時から、市内の北海道ホテルで調印式を開き、中国遼寧省・朝陽市と友好都市提携を結んだ。砂川敏文帯広市長と王大操朝陽市長は議定書に署名を済ませた後、朝陽市代表団や山本日出夫帯広市議会議長ら帯広市関係者の見守る中それぞれ交換した。交流の成果をしっかりと抱えた両市長は、固い握手を交わした。帯広市の友好都市提携は一九八二年に徳島市と産業文化姉妹都市提携を結んで以来十八年ぶり。海外の都市とでは六八年の米国アラスカ州スワード市以来、三十二年ぶり二都市目となった。（3、39面に関連記事）

署名を済ませた友好都市提携の議定書を交換し握手を交わす砂川市長（右）と王市長（左）＝写真・川崎想子

両市の交流は八五年、朝陽市からの視察団来帯をきっかけに始まった。農業研修生の受け入れや訪問団の往来が続いてきた。昨年十月には提携に向けた覚書に調印。王市長を団長とする朝陽市代表団が今月十五日、提携締結のため来帯した。

調印式には、約百二十人が参加。初めに両市長が「両市の友好協力をいっそう強固に発展させると共に日中両国民の理解と友情を深めるため、友好都市を提携することに合意した。文化、スポーツ、産業、経済などの分野で交流協力を積極的に推進することとする」と高らかに読み上げた。また、来賓の横澤一文十勝支庁長、中国駐札幌総領事館の李健勇領事らがあいさつ。



その後、祝賀会に移り、砂川市長は「『小異残して大同求める』精神で理解を深めていき、『万古長青』のごとく末永く続けていきたい」と喜びを語り、王市長も今後の交流発展への期待感を示した。山本議長の祝杯で宴席に移り、尺八など日本の伝統楽器の演奏でもてなした。最後には朝陽市農業委員会の趙瑞主任が乾杯の音頭を取り締めくくった。

両市は提携後の交流として、国際協力事業団（JICA）と連携し、朝陽市の農業総合計画策定を視野に入れた関係者の相互派遣を決めている。

特別職期末手当　0・2カ月減額

12月議会に提案へ

【政経部＝井上猛】帯広市は十七日までに特別職の期末手当を〇・二カ月減額する方針を固めた。十二月開会の定例市議会に特別職の給与改正条例を提案する。

人事院勧告に準拠する形で実施するもので、現在年間四・九五カ月支給されている特別職の期末手当はこれで四・七五カ月に引き下げられる。

引き下げは三年連続で、来年三月支給分に実施。市長の場合年間二十四万七千二百円、助役の場合同十九万八千円引き下げられることになる。

専任部長職配置も

石黒助役が示唆

帯商要望受け　市都心部活性化推進室集約

【政経部＝井上猛】帯広市の石黒三博助役は十六日午後、帯広商工会議所の機構改革に対する要望を受け、この中で商工観光部に集約する方針を打ち出している都心部活性化推進室について、集約後も引き続き専任部長職等の幹部を同部内に配置する考えを示唆した。また東京事務所廃止に関しては、市役所を挙げて情報収集機能自体の必要性は強調、人脈を積極的に活用していく考えを述べた。

市は九七年四月に臨時組織として都心部活性化推進室を設置、室長に部長職を置いているが、来年四月実施予定の組織機構の見直しでは、商工観光部に集約する方針。

この日、商工会議所が独立したまちづくり推進部署設置を求めたのに対し、石黒助役は「ハード、ソフトを合体しTMOをより強力に進めていく上でどうしたらいいか考え、強化していくために商工観光部に一体化したい。その中で（都心部に関する）権限を有した形のポジションは考えている。大きくなっても小さくなることはない」と述べた。

また、東京事務所については「単に閉鎖するというのではなく、市のPR、情報をどう収集するか。市全体で次のステップに向けてどういった方向にあるべきか考えていきたい」とし、今ある人脈を活用した情報収集方法を強化していく意向を示した。

帯商が要望書提出

東京事務所の存続など

石黒助役（左）に要望書を提出する藤本、吉田、川田の3副会頭

【政経部＝近藤政晴】帯広商工会議所は十六日午後二時半、帯広市に「帯広市東京事務所の存続」と「街づくりに向けての独立部署の設置」について、要望書を提出した。

東京事務所の存続については「都市戦略の要。長期的視野に立ち、存続を」と要望、「民間活力、企業的意識のもとでの運営が必かなめ」と提言している。また、独立部署は、中心市街地活性化などを推進する市長直轄の形式を求めている。

藤本長章、吉田勝、川田章博の三副会頭と早坂隆治専務理事の四人が訪れ、石黒三博助役に、要望書を手渡した。藤本副会頭らは「廃止の結論は極めて唐突との感が否めない。経済界も含めて考えたかった。市と会議所のコミュニケーションを深め、一体となってまちづくりの課題にあたっていきたい」と求めた。

石黒助役は「経済界と距離があるとしたらマイナスイメージ。発表の仕方などこちらも反省したい。総合的判断をするため、多くの方々と論議をする環境づくりは必要。腹を割ってコミュニケーションをしていきたい」と述べた。

十勝20世紀

◆4◆

結婚と出産

冬に馬そりで嫁入り

生命誕生を家族が見守る

第6部×生活編

馬そりで嫁入りする花嫁さんと家族。戦後間もないころの農村部でよく見られた光景（写真は新得町の故久保智吉さん撮影）

「男女七歳にして席を同じゅうせず」といわれた時代の結婚は、両家の親たちによってすべてが決定されていた。

今のような自由恋愛は戦後もかなり後になってからのこと。かつての結婚は長い間、家柄が第一に重んじられ、当事者同士の意思とは無関係に縁組が進められるのが当然のことだった。

高島農場の小作の娘だった横山むめさん（九七）＝池田町信取＝は、帯広百年記念館の朗読ボランティアが聞き取りした「とかち女性生活誌」の中でこう語っている。「昭和二年に結婚したが、私たちの場合は本人同士の希望を親に認めてもらった。恋愛結婚なんてとっても珍しい時代のことでしたからうれしかった」

◆新郎の家で結婚式

結婚式は隣近所や親類が集まって新郎の家で行われた。「結納をもらいましたが、三三九度はなかったですね。お祝いは一晩だけで、翌日は近所へお祝いの品を持ち、夫のお母さんと一緒にあいさつして配って歩きました」（横山さん）という。このころの農家の花嫁さんは馬そりに乗って嫁入りした。結婚の祝言は畑仕事のない冬に行われるのが一般的だったからだ。

最近の十勝では、招待制の結婚式は珍しいが、このころは自宅で挙式するのが普通で、すべて招待。だから呼ぶ方も呼ばれる方も大変だった。

会費制は戦後、道が音頭を取って始めた互助会方式の新生活運動によって普及した。

転勤などで本州から移り住んだ人などは会費制の結婚式に出席して「三百人も呼ぶとは北海道の人はなんて大金持ちなんだろう」と驚いたという話もある（とかち女性生活誌）。親類やごく親しい友人たちに案内し、多くても百人程度が普通の本州の招待制とは違い、会費制の結婚式は因習にとらわれない合理的な北海道の文化ではなかろうか。

◆全部一人で出産

昔の女性たちの出産はどのように行われたのだろう。横山むめさんの聞き取りには「産婆さんがいない時代、私の母は全部一人で出産していました。へその緒も産湯も。ムシロの上にあくを置いて、ワラを敷き、その上にボロを敷いて座産（かがむように座って出産）でした。何人も産んでいるから分かるんですね。出産の間際まで仕事をしていましたし、出産した後も一週間なんて休んでなかったと思う」と大変だった出産の様子を語っている。

帯広に資格を持った産婆さんが登場したのは一九〇四年（明治三十七年）の森山ノウさんが最初。一九一六年（大正五年）に帯広産婆会（江口タマ会長、会員六人）が設立され、ようやく母子の健康管理が充実するようになった。

産婆会が助産婦会に名称変更されたのは戦後のこと。その会長を務めた竹原寒子さん（八九）＝帯広市西九南三九＝は「祖母（小野寺秀乃さん）が鹿追町で助産婦をしていたので私も仙台で助産婦の資格を取得して祖母の助産院を手伝った。祖母は妊婦の栄養を考え、自宅で栄養食を作って食べさせたりしていた」という。

◆出産3日目に仕事

戦時中は妊婦の夫が出征中で、竹原さんがその家の幼児をおぶりながら赤ちゃんを取り上げたこともしばしば。「行った先で泊まって出産を見守るのですが、産めよ増やせよの時代でしたから、次々と妊婦の予定日に追われ、私自身も出産して三日目に早くも助産婦の仕事に出かけたこともあった。戦後は保健所で受胎調節認定講習会というのがあって、コンドームやペッサリーの使い方を指導し、母体保護にも力を入れるようになった」と話す。

帯広に移ってからも七十五歳まで母子保健指導を担当した竹原さんは「自宅で出産しなくなったのは時代の流れでしかたのないことですが、自宅出産には生命誕生のドラマを家族全員が体験する素晴らしさがあった。若いご主人など初めての出産に立ち会い、妻の陣痛のうめき声の異様さに目を白黒させて驚き、体を震わせて耐える光景を何度も目の当たりにしました。苦しんだ末の赤ちゃんの元気な産声に家族みんなが歓喜する姿は実に感動的でした」と助産婦人生を振り返っている。

（十勝20世紀取材班＝伊藤昭廣）

仙台の助産婦学校を卒業した当時の竹原寒子さん（中央）と同窓生

編集余録

ノンシュガー

十勝の主要な作物の一つであるビートの収穫が真っ最中で、ビートを満載したダンプカーの往来が激しくなってきている。ビートはもちろん砂糖の原料であるが、南方で栽培されているサトウキビも精製すると同じような砂糖になるというのは不思議である▼疲れたとき甘いものがほしくなるが、砂糖が健康の敵なのか味方なのかいろいろな考え方がある。生活習慣病との関連が指摘されて、肥満のもととか糖尿病になる、カルシウムを破壊するなどといわれると気になって控えがちになる▼日本人の砂糖の年間消費量は、一九七〇年代前半の約三十㌔をピークに減り続けて、九八年には十九・二㌔と先進国のなかでは最も少ない。ちなみに一位のブラジルは五十六・四㌔、欧州連合（EU）は三十八・九㌔、米国は三十三・五㌔である。日本は思いのほか砂糖離れが進んできているということか▼糖分の取り過ぎを気にしているとき、ノンシュガーとかシュガーレスなどたくみなネーミングの商品があって気を引かれる。それらのミルクチョコレートやノンシュガー紅茶を口にしてみると、確かに甘みは感じるが気のせいか何か違う感じがする。糖類（砂糖・ぶどう糖・果糖など）の含有量が百㌘当たり〇・五㌘未満なら「ノン」や「レス」が表示できるとのことだが、必ずしも「ノン」や「レス」が即、カロリーゼロということではないらしい▼砂糖の熱量は、小さじ約十二杯でおにぎり一個分、約二十杯でポテトチップ半袋分、約二十一杯でショートケーキ一切れ分にもなるというが、要は砂糖自体に害があるわけでなく、バランス良く栄養をとることが大切で心と体をいやす働きもあるのだから、少なからず多すぎずが肝心のようである。（池田　緑）

18日の天気
雪のちくもり
（帯広市）詳報は最終面

本日の紙面
- マイカル、シネコン届け出〈3面〉
- 内閣支持率、18％に低下〈5面〉
- 中札内、行政区再編で議論〈30面〉
- お歳暮商戦がスタート〈38面〉

購読のお申し込みはフリーダイヤル 0120-25-3999 www.tokachi.co.jp/hanbai/
紙面へのご意見ご要望は 読者センター 22-2121
WEB TOKACHI www.tokachi.co.jp/ インターネットナンバー @2121

常に信頼される品質と価格をモットーに！
いちまる

政府広報
21世紀 見つめる力 確かな情報
～11月は、政府刊行物普及月間です～
●各省庁等では、国民の生活や仕事に役立つ白書や資料など数多くの政府刊行物を発行しています。
●これらの刊行物は、全国11ヵ所の政府刊行物サービス・センターもしくは62ヵ所の政府刊行物サービス・ステーションで入手することができます。
●政府刊行物の内容や入手方法などの詳しいことは、大蔵省印刷局03-3587-4283まで。
●ホームページ http://www.pb-mof.go.jp/
総理府・大蔵省

ブライダルプラザ衣舞・おしゃれサロン亜土・大和写真館・フジビデオプロダクション・アトリエセツコ・道時計店
美しい時代へ――東急グループ
Message from 109
2000・ラスト・ブライダルフェア
11.19(SUN) 11:00～18:00
ブライダルドレス試着会
模擬披露宴 14:00～
お料理試食会 12:30～14:00
Heart ful Wedding Plan
少人数の皆様におすすめいたします。
チャペル挙式23万円
衣裳（タキシード1点・ドレス1点）着付＋挙式料
神前挙式プラン18万円
衣裳（紋付1点・白打掛1点）着付＋挙式料
オプションを組み合わせてオリジナルな結婚式を演出できます。いずれも税別です。
こだわりの演出
フュージョン Fusion
会費ご両家ご負担の引出物をセットしたプランです。
帯広市西1条南11丁目　帯広東急イン　ブライダルセクション0155-23-3177
花倶楽部・花栄・藤丸・香川商会・エステROOMミク・太田寝装・加藤家具店・ソーゴー印刷・カラープロセス・東急観光

グランドホテルブライダル相談会 11/19(日) 10:00～17:00
ブライダルに関するすべてを、心をこめてお答えします。
ウエディングプラン
雅
ご両家ご負担 ¥330,000（税別）
チャペル式の場合は ¥380,000（税別）
会費制・100名様より
◆衣装/新郎2点・新婦3点、着付
◆挙式/神前式、チャペル式
◆記録/記念写真（6ポーズ）
◆控室/ご両家控室・ご媒酌人控室・着付室
上記雅プランご利用の方で平成13年3月31日までにご婚礼を考えているお二人には、更に特典としてタキシード、ドレス各1点をプラスさせていただきます。（新郎衣装3点、新婦衣装4点となります。）
《ご予約・お問い合わせ直通》 0155-25-5500
レストランウエディングプラン
エメラルド
ご両家ご負担 ¥280,000（税別）
会費制・50名様より
◆衣装/新郎タキシード2点・新婦ウエディングドレス2点、着付
◆挙式/チャペル式　◆記録/記念写真（3ポーズ）
◆控室/ご両家控室・ご媒酌人控室・着付室
●当ホテルでは発起人代行業務を承っております。
●媒酌人をたてないウエディングもご相談下さい。
帯広グランドホテル
〒080-0012 帯広市西2条南3丁目20番地 0155-22-4181（代表）